

東京都認知症対策推進会議 若年性認知症支援部会(第8回)

次 第

東京都庁 第一本庁舎 3 3 階 特別会議室 S 1
平成 2 2 年 2 月 1 5 日 (月) 午後 5 時 0 0 分から

1. 開 会

2. 議 題

若年性認知症の人と家族に必要な支援策について

3. 閉 会

[配付資料]

東京都認知症対策推進会議 若年性認知症支援部会委員名簿

(資料 1) 若年性認知症支援部会報告書 (仮称) 骨子案

(参考資料 1) 「若年性認知症支援モデル事業者を決定しました」

(参考資料 2) 「認知症に対応可能な医師・医療機関の情報提供を始めました」

「東京都認知症対策推進会議(若年性認知症支援部会)」委員名簿

◎部会長

区分	氏名	所属・役職名
学識経験者	小野寺 敦志	国際医療福祉大学大学院准教授
	◎斎藤 正彦	医療法人社団翠会 和光病院院長
	田谷 勝夫	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター主任研究員
医療関係者	浅川 雅晴	社団法人東京都医師会産業保健委員会委員 (医療法人社団浅川クリニック院長)
介護事業者	末延 法子	特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会理事 (株式会社コスモスライフ シーエルポート世田谷管理者)
	林田 俊弘	東京都地域密着型サービス事業者連絡協議会副代表 (特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち理事長)
家族代表	干場 功	若年認知症家族会・彩星の会代表
行政関係者	鈴木 一郎	墨田区福祉保健部障害者福祉課長
	高橋 一成	国立市健康福祉部高齢者支援課長

各区分において50音順

「東京都認知症対策推進会議(若年性認知症支援部会)」幹事名簿

氏名	所属
中村 雄	福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療課長
松山 祐一	福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課長

若年性認知症支援部会報告書(仮称)骨子案

はじめに
事例紹介
第1章 本書における検討内容
1 検討目的
2 検討手順
3 基本姿勢
第2章 公的支援（相談・家族支援等）
1 現状・若年性認知症に特有の課題
(1)情報提供・相談体制の必要性
(2)情報提供・相談体制の現状
・情報提供（インターネット）
・区市町村の相談窓口
・ケアマネジャー
・家族介護者の会
2 支援策
(1)情報提供
(2)相談体制
第3章 医療支援
1 現状・若年性認知症に特有の課題
(1)早期診断
・早期診断の必要性
・早期診断を巡る現状
(2)診断後の日常生活の支援
・専門医療機関における対応
・医療と福祉の連携
(3)重症時・緊急時の対応
・若年性認知症の特徴
・利用可能な既存の制度
2 支援策
(1)基本的考え方
(2)具体策
①早期診断
・専門医療機関との連携促進
・産業医への普及啓発
・情報提供
②診断後の日常生活の支援
・かかりつけ医・認知症サポート医の活用
・専門医療機関における助言
・医療と福祉を繋ぐシステム
③重症時・緊急時の対応

第4章 介護支援
1 現状・若年性認知症に特有の課題
(1)若年性認知症の状態像
(2)介護保険事業所・施設
2 支援策
・基本的考え方
・具体策
第5章 職場を含む社会的支援
1 現状・若年性認知症に特有の課題
(1)「就労支援」について
(2)職場における対応
(3)空白期間の居場所
(4)社会全体における支援
2 支援策
(1)「就労支援」のあり方
(2)就労継続（維持）支援のための職場における対応
・基本的な考え方
・具体策
・早期発見・対応力向上
・連携体制の構築
(3)空白期間の居場所
・基本的な考え方
・具体策
(4)社会全体における支援
第6章 経済的支援
1 現状・若年性認知症に特有の課題
(1)経済的支援の必要性
(2)ローンについて
(3)その他の既存の支援策
2 支援策
・基本的な考え方
・具体策
・ローン及び高度障害認定基準について
・既存の支援策の活用について
参考資料
若年性認知症に関する区市町村相談窓口調査報告書
若年性認知症に関する介護保険事業所調査報告書
東京都認知症対策推進会議 若年性認知症支援部会 開催経過
東京都認知症対策推進会議 若年性認知症支援部会 委員・幹事名簿
認知症対策推進事業実施要綱

平成22年2月5日
福祉保健局

若年性認知症支援モデル事業の補助事業者を決定しました

～若年性認知症の本人・家族が地域で安心して暮らせるために～

都内には現在、65歳未満で発症する若年性認知症の人が約4,000人いると推計されています。若年性認知症については、医療・介護・障害福祉等多岐に渡る利用可能な支援制度がありますが、十分に活用されていないこと、若年性認知症の人は認知症高齢者と比較すると人数が非常に少ないため、ケアの現場における対応ノウハウが蓄積されていないことなど、高齢者の認知症とは異なる特有の課題があると指摘されています。

東京都では、若年性認知症の本人・家族が地域で安心して暮らせることを目的として、若年性認知症支援モデル事業を実施し、若年性認知症の人やその家族の支援に資する適切なサービスのあり方を検討することとしました。

この度、若年性認知症の特性に応じた先駆的な取組を実施する補助事業者を募集し、応募のあった事業者について審査を行った結果、補助事業者を選定しましたので、お知らせします。

1 選定結果

- 特定非営利活動法人いきいき福祉ネットワークセンター
- 社会福祉法人東京栄和会
- ※各補助事業の概要については裏面のとおり

2 補助事業者の選定方法

若年性認知症支援モデル事業に係る補助事業者選定委員会を設置し、同選定委員会において、事業者からの提出書類及びヒアリング結果を踏まえた総合的な審査により選定しました。

- 応募事業者数・・・11事業者

3 若年性認知症支援モデル事業の概要

- 実施主体 東京都。ただし事業者に補助することにより実施
- 実施期間 平成21年度から23年度までの3か年（継続）
- 補助基準額 11,147千円/か所
- 補助率 10/10（国1/2、都1/2）
- 対象事業 若年性認知症の本人・家族の支援に資する事業であれば、内容は問わない。ただし、公的な給付の対象となっているサービスは対象外

4 今後の予定

- 平成21年度（1年目） 翌年度からの本格実施に向けた課題抽出、実施体制の構築
- 平成22年度（2年目） 事業の本格実施、評価・検証
- 平成23年度（3年目） 事業の実施、評価・検証、モデル事業の再構築

補助事業の概要

事業者名	特定非営利活動法人 いきいき福祉ネットワークセンター
理事長	駒井 由起子
事業所名	いきいき福祉ネットワークセンター
事業所所在地	目黒区碑文谷6-5-10
主要事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・多岐に渡る支援制度の相談が1箇所で行えるワンストップ機能 ・情報提供や関係機関との連携、サービス利用手続きにおける同行支援まで、状況・ニーズに応じた総合的なマネジメント支援
事業内容	<p>①マネジメント支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「支援コーディネーター」が、医療・介護・障害福祉・就労・行政等の多岐に渡る支援制度の総合相談窓口としての機能を担う。 ・「支援コーディネーター」が、医療機関・ケアマネジャー・介護保険事業所・行政窓口等との連絡調整・情報提供を行うとともに、サービス利用に必要な手続きの代行・同行支援を行う。 ・家族の状況・ニーズを記載した「連携シート」を活用し、各関係機関の情報共有及び円滑な連携を促す。 <p>②家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症専門医や保健師等の専門職による相談・助言、家族の相互交流 <p>③普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連携シート」を活用した相談支援事例について分析・評価検証を行い、支援マニュアルを作成。 ・地域包括支援センターを対象に講習会を開催し、若年性認知症のマネジメント支援等の普及を図る。 ・若年性認知症に関する知識・対応方法等についての啓発活動を行い、理解促進及び本人・家族の生活支援を図る。

事業者名	社会福祉法人 東京栄和会
理事長	平方 俊雄
事業所名	特別養護老人ホーム なぎさ和楽苑
事業所所在地	江戸川区西葛西8-1-1
主要事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム内のスペースを活用した就労型のデイサービス ・当日通所してからその日の過ごし方をスタッフと相談して決める「フリースタイル」が基本コンセプト ・介護保険サービスの利用になじまない人が対象
事業内容	<p>①就労型支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日通所してからその日の過ごし方をスタッフと相談して決める「フリースタイル」が基本コンセプト。利用者が個々の状態に応じた軽作業(買い物・調理・清掃等)を実施することで、若年性認知症の本人の社会参加意欲に応えるとともに、退職後の居場所づくりに取り組む。 ・精神医学・臨床心理学・作業療法等の専門職と連携し、若年性認知症に適したデイプログラムを開発する。 <p>②家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記専門職を交えての勉強会を開催し、介護方法の指導・助言を行う ・家族会を開催し、悩み相談や情報交換を行う。 <p>③地域連携・普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政・医師会・地域包括支援センター・介護保険事業所等、地域の関係機関の参画によるネットワーク会議を開催し、連携体制を構築する。 ・モデル事業を通じた若年性認知症に適したデイプログラムの開発と対応方法について、普及活動を実施する。

平成 21 年 1 2 月 2 1 日
福 社 保 健 局

～認知症の人と家族を支えるための医療支援体制の実現に向けて～

認知症に対応可能な医師・医療機関の情報提供を始めました

東京都では、認知症の早期発見・早期診断を実現し、地域の医療支援体制の充実を図るため、社団法人東京都医師会の協力を得て、かかりつけ医認知症対応力向上研修（※1）、認知症サポート医養成研修（※2）及び認知症サポート医フォローアップ研修（※3）を実施しています。

この度、認知症の相談先・受診先等を探す際の利便性向上を図るため、各研修修了者のうち、名簿の公表に同意が得られた医師約 1,800 人の情報を「かかりつけ医・認知症サポート医名簿」として東京都の認知症ポータルサイト「とうきょう認知症ナビ」で公表することとしました。

また、認知症に対応可能な医療機関の情報を、東京都医療機関案内サービス「ひまわり」（※4）で、より手軽に検索できるようになりました。

1 「かかりつけ医・認知症サポート医名簿」の公表

- 「かかりつけ医・認知症サポート医名簿」は、認知症についてのアドバイスや診断、専門医療機関の紹介などを行う医師の名簿です。
- 認知症の疑いや不安が生じたがどうすればよいか分からない時、どこの医療機関に相談・受診すればよいか分からない時に、本名簿を活用し、お近くの「かかりつけ医・認知症サポート医」まで御相談ください。

2 「認知症に対応できる医療機関」情報のインターネット検索機能の新設

- 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」において、「認知症に対応できる医療機関」を簡単・詳細に検索できるようになりました。
 - ・ 「認知症に対応できる医療機関をさがす」という検索分類項目ができました。
 - ・ 若年性認知症の診断・治療の可否、認知症の訪問診療・往診実施の可否による医療機関の検索ができます。
 - ・ 認知症の中核症状（※5）・周辺症状（※6）・身体合併症（※7）等、治療対象となる症状ごとに対応可能な医療機関を検索できます。

3 アクセス方法

(1) 「かかりつけ医・認知症サポート医名簿」

○ 東京都の認知症ポータルサイト「とうきょう認知症ナビ」

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/zaishien/ninchishou_navi/

(2) 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」

<http://www.himawari.metro.tokyo.jp/>

○ 「ひまわり」は、「とうきょう認知症ナビ」からもリンクしています。



4 公表・サービス開始日

平成 21 年 1 2 月 2 2 日（火曜日）

※1 かかりつけ医認知症対応力向上研修

高齢者が日ごろから受診する診療所等の主治医(かかりつけ医)に対し、適切な認知症診断の知識・技術や家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得するための研修

※2 認知症サポート医養成研修

地域医療に携わり認知症の対応に習熟している医師で、所定の研修を修了し、かかりつけ医に対する認知症診断等に関する相談・助言、地域包括支援センター等との連携及び「かかりつけ医認知症対応力向上研修」の研修内容の企画立案や講師役等を担う医師を養成する研修

※3 認知症サポート医フォローアップ研修

(1) 身体疾患(状態)が認知症に及ぼす影響や観察のポイント等の医学的知識の付与、(2) 地域の社会資源・医療資源の情報を元に地域における連携モデルの検討等を内容とする、東京都独自のカリキュラムによるフォローアップ研修

※4 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」

都民が医療機関を受診する際の参考とするため、都内の医療機関の情報(医療機能情報)を提供している、インターネット等による医療機関の案内サービス。医療法第6条の3に規定する「医療機能情報提供制度」に対応。

【提供している医療機関の情報】

- ・名称、所在地、診療科目、診療日、診療時間、交通手段等の基本的な情報
- ・対応可能な疾患・治療内容、院内体制、院内サービス等の詳細な情報

※5 中核症状

記憶障害や見当識障害等、病気等により脳の細胞が壊れ、その細胞が担っていた機能が失われたために生じる症状

※6 周辺症状

認知症患者にしばしば出現する知覚や思考内容、気分あるいは行動障害。BPSD。

※7 身体合併症

認知症の人が、脱水・骨折等の様々な身体疾患(状態)になった場合の、その身体疾患(状態)

「かかりつけ医・認知症サポート医名簿」 (例)

●●区

氏名	医療機関名	医療機関所在地	医療機関電話番号	かかりつけ医 認知症対応力 向上研修	認知症 サポート医 養成研修	認知症 サポート医 フォローアップ 研修	備考
○○ ○○	○○○○	○○○○	○○○	○	○	○	
◎◎ ◎◎	◎◎◎◎	非公表	非公表		○	○	
□□ □□	□□□□	□□□□	□□□	○	○		非医療機関（介護 老人保健施設）
△△ △△	△△△△	△△△△	△△△	○			一般外来は診療し ていない
非公表	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆		○		

- 氏名の50音順で掲載しています。ただし、氏名非公表の医師は最後尾に掲載しています。
- 医療機関以外に勤務している医師は、備考欄にその旨を記載しています。（ここでいう「医療機関」とは、病院及び診療所を指します。）
- 修了した研修ごとに「○」を付しているの、各研修の修了状況が一目で確認できます。

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」検索画面イメージ

《変更前》

トップページ→診療科目や診療の領域でさがす→精神科・神経科領域でさがす→認知症→（→地域選択→検索結果）

診療の領域でさがす

◎皮膚・形成外科領域でさがす

◎神経脳血管領域でさがす

◎精神科・神経科領域でさがす

◎眼科領域でさがす

<input type="checkbox"/> 精神科・神経科領域の 一次診療	<input type="checkbox"/> 臨床心理・神経心理検査
<input checked="" type="checkbox"/> 認知症	<input type="checkbox"/> 心的外傷後ストレス障害 (PTSD)
<input type="checkbox"/> 在宅精神療法	

検索条件を指定し、「次へ」ボタンをクリックしてください。⇒

《変更後》（部分が新たに追加された項目です。）

トップページ→診療科目や診療の領域でさがす→認知症に対応できる医療機関をさがす→調べたい医療機能を選択→（→地域選択→検索結果）

診療の領域でさがす

◎皮膚・形成外科領域でさがす

◎神経脳血管領域でさがす

◎精神科・神経科領域でさがす

◎眼科領域でさがす

認知症に対応できる医療機関をさがす

検索条件を指定し、「次へ」ボタンをクリックしてください。⇒